

ホットな
福祉情報誌

はあとふる ふくしま

2023
4・5月
No.316



特集

共につながり支えあう ふくしまの地域共生社会をめざして
～福島県社会福祉協議会 令和5年度新規事業・事務局体制～

シリーズ [未来へつなごう“ふくしま”から]

恥ずかしいことじゃない。
性教育がもっと当たり前にある社会に
NPO法人「はーぐる」の性教育、妊娠葛藤相談支援事業

2023年度シリーズ ふくしまのみらい

「ねえみてみて、カエルがいたよ!」
穏やかな陽気の中で眠っていたカエルたちも
元気な子どもたちに誘われて遊び始めました
(飯野あおぞら保育所・福島市)



共につながり支えあう ふくしまの地域共生 社会を目指して

～福島県社会福祉協議会 令和5年度新規事業・事務局体制～

地域住民が抱える複合的な課題の解決に向けた市町村での重層的支援体制の充実、近年頻発する災害時に備えた支援体制の強化など、さらなる地域共生社会づくりの推進が求められています。

令和3年度から5か年を推進期間とする「福島県社会福祉協議会第5期活動推進計画 図1」の基本理念『共につながり支えあう ふくしまの地域共生社会づくり』のもと、令和5年度に県社協が取り組む事業の一部と事務局体制をご紹介します。

令和5年度 基本目標

- 1 共につながり支えあう地域づくり
- 2 共につながり支えあう仕組みづくり
- 3 地域共生社会を支える人づくり

令和5年度 新規事業（一部）の紹介

災害ボランティアに関する
連絡体制の強化に向けて

- 推進項目 1
- 推進項目 2
- 推進項目 3

近年の災害では、市町村社協にて協働型の災害ボランティアセンターが運営されています。災害時に円滑な協働が展開されるためには、平時から地域にある機関・団体との連携が重要です。そのため、本年度は県及び市町村域における多機関の連携体制強化に向けた情報共有会議を実施することとしています。

また、災害ボランティアに関する情報発信は、被災地内と被災地外をつなぐ重要な機能です。本会ホームページ等のツールを活用した情報発信の強化や体制の整備を図っていきます。
(地域福祉課)

重層的支援体制や包括的支援体制の構築を目指して

- 推進項目 1
- 推進項目 2
- 推進項目 4
- 推進項目 8

生活の困窮やひきこもり等、地域住民が抱える課題は複雑化・複合化しています。その解決のため、市町村では分野の枠にとられないチーム体制を構築することが求められています。本会では、市町村の重層的支援体制整備事業の実施状況に応じ、市町村における住民参加の促進や職員の資質向上等に取り組んでいます。今年度は市町村における重層的支援体制や包括的支援体制の整備に関する情報共有会議を開催し、情報交換や課題の共有を図ることとしていきます。
(地域福祉課)

復興公営住宅入居者の今を把握する

- 推進項目 2
- 推進項目 9

避難者支援のあり方をこれまでの個別支援を基にした地域支援へ移行するにあたり、令和4年度に「避難者地域支援コーディネーター」を新たに配置しました。今年度はさらに増員することで、地域支援の一体的な取り組みをさらに進めていきます。また、県内には復興公営住宅が72団地4843戸あり、そこに居住する住民がどのような不安や課題を抱えているのか、避難者支援に関するアセスメント調査を実施します。調査結果は、居住者への課題把握と支援のあり方の研究に役立て、今後の支援に生かしていくこととしていきます。
(避難者生活支援・相談センター)

図1 福島県社会福祉協議会 第5期活動推進計画の概要

基本理念 共につながり支えあふ ふくしまの地域共生社会づくり

基本目標 ①
共につながり
支えあふ地域づくり

- 推進項目 1 地域づくりへの参加を推進します
- 推進項目 2 互いに支えあふ取組みを支援します
- 推進項目 3 災害時に支えあふ地域づくりを推進します

基本目標 ②
共につながり
支えあふ仕組みづくり

- 推進項目 4 日常生活を支える仕組みづくりを推進します
- 推進項目 5 利用者を尊重する福祉サービスの仕組みづくりを推進します

基本目標 ③
地域共生社会を
支える人づくり

- 推進項目 6 共に生きる心を育む福祉教育・学習の推進を支援します
- 推進項目 7 地域共生社会づくりの担い手育成の推進を支援します
- 推進項目 8 福祉人材の活躍を推進します

組織・経営基盤 基本目標を達成するために

- 推進項目 9 情報把握・発信と提言
- 推進項目 10 人材育成
- 推進項目 11 財政基盤
- 推進項目 12 内部統制

令和5年度 福島県社会福祉協議会事務局体制

生活自立サポートセンター

- 生活困窮者等への支援

【県北事務所】

TEL : 024-525-8801

FAX : 024-524-3618

【会津事務所】

〒965-0873 会津若松市追手町5-32
(会津若松市社会福祉協議会内)

TEL : 0242-23-7445

FAX : 0242-23-7724

【県中事務所】

〒969-0404 岩瀬郡鏡石町旭町161
(鏡石町老人福祉センター内)

TEL : 0248-94-7800

FAX : 0248-94-7801

【県南事務所】

〒963-6131

東白川郡棚倉町大字棚倉字北町95-5

TEL : 0247-57-7141

FAX : 0247-57-7142

【相双事務所】

〒979-0011

南相馬市原町区小川町674-5

TEL : 0244-32-1753

FAX : 0244-32-1783

地域生活定着支援センター

- 矯正施設を退所した高齢者や障がい者への生活支援

TEL : 024-523-0102

FAX : 024-573-8201

総務企画課

- 法人運営
- 総合企画・提言活動
- 共済事業
- 社会福祉従事者の福利厚生
- 広報誌の発行
- 福島県社会福祉大会の運営

TEL : 024-523-1251 FAX : 024-523-4477

いきいき長寿室(長寿社会推進センター)

- いきいき長寿県民賞の顕彰
- 福島県シルバー美術展の開催
- シニア団体活動支援事業の実施

TEL : 024-524-2224 FAX : 024-524-2228

(高齢者総合相談センター)

- 高齢者の心配や悩みごと、成年後見制度に関する相談

TEL : 024-524-2225 FAX : 024-524-2228

(認知症コールセンター)

- 認知症に関する専門相談

TEL : 024-522-1122 FAX : 024-524-2228

運営適正化委員会

- 福祉サービスの苦情解決のための第三者委員会

TEL・FAX : 024-523-2943



令和4年度福島県社会福祉大会では、受賞者等約250人をお迎えして開催。記念講演と表彰が行われました。

(令和4年11月11日
二本松市民会館)





「福祉の職場合同就職説明会」では、福祉分野への就職を希望する方と社会福祉施設等をつなぎ、人材確保の推進を図りました。ホームページ上でPR動画や求人情報を紹介する「WEB説明会」も実施しました。

会 長

副会長

事務局長

事務局次長

人材研修課

福祉人材センター

- 無料職業紹介事業
- 福祉人材の養成・確保
- 介護助手の推進

TEL : 024-521-5662 FAX : 024-521-5663

- 県外からの福祉人材確保支援

TEL : 024-526-0045 FAX : 024-521-5663

(保育士・保育所支援センター)

- 潜在保育士の再就職支援
- 保育所経営者向けセミナーの開催

TEL : 024-521-5662 FAX : 024-521-5663

福祉研修センター

- 社会福祉従事者研修の実施
- 福祉職員キャリアパス対応生涯研修の実施
- 福祉・介護人材の定着促進
- 介護支援専門員の養成

TEL : 024-523-1259 FAX : 024-521-5663

(介護実習・普及センター)

- 一般県民を対象とした介護講座の実施
- 相談員や介護職員等を対象とした専門研修の実施

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

(県男女共生センター5階)

TEL : 0243-23-8306 FAX : 0243-62-4633

福祉サービス支援室

- 施設種別部会・協議会の運営
- 介護福祉士修学資金等貸付
- 保育士修学資金等貸付
- 第三者評価事業

TEL : 024-523-1256 FAX : 024-521-5663

- ひとり親職業訓練促進資金貸付
- 児童養護施設退所者自立支援資金貸付

TEL : 024-573-8200 FAX : 024-521-5663

地域福祉課

- 地域福祉活動の推進
- 市町村社会福祉協議会への支援
- 重層的支援体制整備事業
- 地域包括・在宅介護支援センター協議会

TEL : 024-523-1252

FAX : 024-523-4477

- 日常生活自立支援事業 (あんサポ)

TEL : 024-523-2442

FAX : 024-523-4477

- 民生委員・児童委員活動の推進

TEL : 024-522-6543

FAX : 024-522-6546

ボランティアセンター

- ボランティア活動に関する相談・情報の提供
- ボランティア担当者の資質向上
- 福祉教育の推進支援

TEL : 024-523-1254

FAX : 024-523-4477

避難者生活支援・相談センター

- 生活支援相談員・避難者地域支援コーディネーターの活動支援

TEL : 024-522-6543

FAX : 024-522-6546

生活支援室(大町分室)

- 生活福祉資金の貸付
- 〒960-8041 福島市大町 5-6
(日本生命福島ビル 3F)

TEL : 024-523-1250

FAX : 024-526-0266

5月より
移転
しました



地域共生社会の実現に向けて、地域づくりを担う市町村社協職員の資質向上を図るコミュニティソーシャルワーク研修を実施しました。権利擁護やボランティア、高齢者支援や避難者支援等の様々な業務を担当する職員が参加し、積極的な意見交換が行われました。



はーぐるでは出張講座も受け付けており、受講者に合わせた内容の性教育を実施しています。この日は子育て支援センターで「子どもへの性教育講座」を幼児がいる母親向けに行いました。(講座依頼はSNSやホームページから)

取材協力

NPO法人 はーぐる
(福島市)
TEL 090-3955-6855
E-mail hearagle@gmail.com

HP

NPO法人はーぐる

「はーぐる」の性教育、妊娠葛藤相談支援事業
 恥ずかしいことじゃない。性教育が
 もっと当たり前にある社会に

性教育は大切な人の
心とからだを守ること

「性」耻ずかしいことという概念からタブー視されがちですが、そもそも性教育は人と人との関わり合いを学ぶ学問なんです」と話すNPO法人はーぐる代表の小林さやかさん。子どもやパートナーなど、大切な人の心とからだを守るために必要な知識だと話します。性に関して、必ず正解があるわけではなく、答えも一つではありません。性教育の内容は幅が広いので、はーぐるで行う講座では参加者自身が性に対する価値観を改めて見つめ直すきっかけや考える時間にしてもらうことを大切にしており、一方的な価値観の押し付けにならないよう心掛けています。

予期せぬ妊娠で苦しむ人の
力になりたい

望んでも子に恵まれない人がいる一方で、「予期せぬ妊娠」から子を遺棄する事件が多く起きてしまう現状に疑問を感じていたという小林さん。しかし、事件の背景を調



代表理事の小林さやかさん。今後はさまざまな事情を抱える妊婦のケアができる居場所づくりにも力を入れたいと話します。

べるうちに、正しい性の知識があまり広まっていないことや予期せぬ妊娠を相談することに抵抗があり、行き詰まってしまう人が多いということが分かってきました。「こうした状況を生んでしまうのは、妊娠・出産について何も教えない、助けがない、私たち大人の責任でもあると感じました」と小林さん。そこで、何か自分でできることはないかと、2020年に「はーぐる」を立ち上げました。現在は、24時間365日対応の妊娠相談窓口や幅広い年代を対象にした性教育講座を行っています。スタッフの中には、アドバイザーとして助産師や保健師などの専門職もあり、あらゆる相談に対応できる体制を整えています。

また、高校へ出向き、妊娠や性の悩みに向き合う世代へ正しい知識を伝える授業を行っています。さら



赤い羽根で ささえあい

社会福祉法人 福島県共同募金会

〒960-8141 福島市渡利字七社宮 111 (福島県総合社会福祉センター内)
電話 024-522-0822 FAX 024-528-1234
メールアドレス akaihane@axel.ocn.ne.jp
ホームページ https://akaihane-fukushima.or.jp/

御礼

令和4年度共同募金運動へのご協力、
ありがとうございました

令和4年10月1日から6か月間にわたり展開された共同募金運動は、令和5年3月31日をもって寄付受付を終了しました。

今年度も、県内外の寄付者の皆さま、企業の皆さま、自治会・町内会の皆さま、民生児童委員の皆さま、学校関係者の皆さま、関係機関・団体の皆さまの深いご理解とご協力により、非常に多くのご寄付を賜りました。ご協力いただいた皆さまに、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

令和4年度共同募金運動寄付総額
3億9,311万0,015円

【内訳】

赤い羽根共同募金 2億6,961万4,147円
地域歳末たすけあい募金 1億1,813万5,439円
NHK歳末たすけあい募金 536万0,429円

- 寄せられたご寄付は、福島県内の社会福祉施設、社会福祉協議会、NPO等が行う福祉活動に役立てられます。
- ご寄付の使いみちは、令和5年3月3日に本会配分委員会で審査され、本会理事会・評議員会の決議を経て、決定されました。
- 配分決定先など詳細な使いみちについては、6月中旬以降、本会ホームページで公開予定です。




福島県共同募金会
ホームページ

妊娠葛藤相談に寄せられる声(一例)

男性からの
相談は全体の
約3割と増えて
きています

避妊を失敗してしまい、
交際相手を中絶させて
しまいました。
どうしたらいいでしょう…。



妊娠したことを
パートナーに告げたら
逃げられてしまいました。
なぜ私ばかり苦しまないと
いけないのか…
とてもツライです。

寄せられる
相談も低年齢化
しています

誰にも言えない。。こんな悩みありませんか？

Instagram LINE
hearagle@gmail.com 検索 検索 HP
e-mail
Twitter Facebook

生理がこない
妊娠したかも
避妊に失敗…?
妊娠でせろやっったかも
妊娠したけど…

パートナーからの
誘いを断れない
妊娠してくれない
産むか迷ってる

妊娠や性に
まつわる悩み
何でも相談して
ください。
あなたは
ひとりじゃない
ですよ！

・相談は無料
・秘密は守ります
・24時間受付

はーぐる自作のステッカーを学校やスーパーのトイレに貼らせてもらうなどして、活動の周知を図っています。

に、地域から依頼があれば、子への性教育に悩む親に対する講座も実施しています。参加者からは「性教育について学べる場所がなく、何から始めたら良いかも分からなかった」という声を多くいただくのだから、「私たちの世代もきちんとした性教育を受けずに大人になってしまった人がほとんど。性教育に対する「恥ずかしい」という偏ったイメージを変え、小さい頃から学べるような社会にしていけたらと思っています」とひたむきな想いを語る小林



法人名の「はーぐる」には、Heart (=心)と Snuggle (=つなげる)で心をつなげる、心を通わせるという意味が込められています。

さん。自分の意見が一番正しいという思いにとらわれることなく、違いを受け入れ合えるようになってほしいとも話してくれました。活動を通して出会った仲間とともに、誰もが心からだを大切にされる社会を目指す挑戦は続きます。

第26回 福島県介護支援専門員実務研修受講試験のご案内

1. 試験日時

令和5年10月8日(日) 午前10時開始

2. 試験会場

福島市(予定)

3. 受験手数料

9,900円

4. 受験資格

保健・医療・福祉分野の該当資格で通算5年以上かつ900日以上の実務経験を有する方
※詳細は「受験案内」で確認してください。

5. 申込期間

令和5年5月15日(月)～6月14日(水)
※当日消印有効

6. 受験案内の配付について

(1) 配付期間 令和5年5月15日(月)～6月14日(水)

(2) 配付方法 受験案内を希望する方は、『返信用封筒』に宛先を明記し希望冊数に応じた切手を貼付したうえで、下記問い合わせ先までお送りください。

※1 窓口での配付は一切いたしません。

※2 返信用封筒表面左下に「ケアマネ試験受験案内〇〇冊希望」と必ず希望冊数を明記してください。

※3 速達での送付を希望する場合は、返信用封筒表面に朱書きで「速達」と明記してください。

希望冊数	返信用封筒のサイズ	返信用封筒に貼付する切手の金額	
		通常料金	速達料金
1冊	A4サイズ(角型2号)	250円	260円加算
2冊～3冊	A4サイズ(角型2号)	390円	350円加算
4冊～5冊	A4サイズ(角型2号)	580円	350円加算
6冊以上	ゆうパック等の着払い伝票に必要事項を記入して送付してください。(返信用封筒は不要) なお、必ず希望冊数を明記してください。		

お問い合わせ先・
返信用封筒の送付先

福島県社会福祉協議会 人材研修課 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
電話 024-523-1259 FAX 024-521-5663
ホームページアドレス <https://www.fukushimakenshakyo.or.jp>



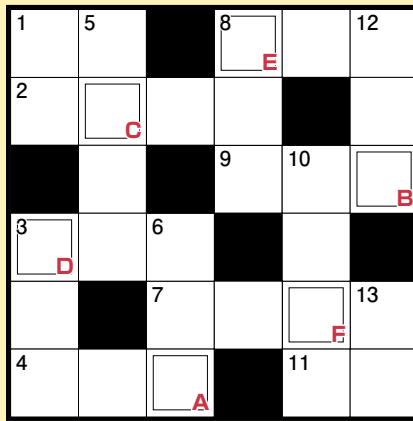
クロスワードにチャレンジ!

▶ ヨコのカギ

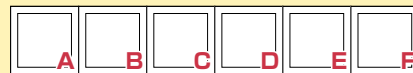
- 1 恥ずかしい! コレがあったら入りたい
- 2 料理人が自分たちのために作る食事
- 3 ヒット曲「○のバルコニー」「○のシンドバッド」
- 4 鉄の斧を落としたら池の中から現れました
- 7 芋煮会の芋
- 8 英語で「ゴマ」のこと。「オープン ザ ○○○!」
- 9 チョコレートを食べ過ぎると出るという俗説も
- 11 犬・猿とともに桃太郎と鬼退治に行きました

▼ タテのカギ

- 1 ⇄ プロ
- 3 ↗ ↘ ↙ ↚
- 5 先発投手→○○○○→抑え
- 6 高タンパク・低脂肪・低カロリーな鶏肉の第二胸筋
- 8 侍ジャパンが WBC○○○!
- 10 長寿
- 12 20歳は「はたち」、では 30歳は?
- 13 今あなたが読んでいるこの図形記号



全部できたら二重ワクの6文字をABC順に読んでいくと、それが答えです。



正解者の中から
抽選で3名に
プレゼントが当たる



今日のプレゼント

特定非営利活動法人あさがお
(南相馬市)

青ばた豆粉のパウンドケーキ
& 青ばた豆のおつまみ

当選者の発表は商品の発送を
もって代えさせていただきます。

応募方法 ハガキまたはEメールにパズルの答えと ①住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、業種 ②本誌に対するご意見、ご感想、ご要望を全てご記入の上、ご応募ください。

締切 令和5年6月14日(水)

宛先 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
社会福祉法人 福島県社会福祉協議会「はあとふる・ふくしまパズル係」

メールでのご応募はこちら!



3月号の
正解

「コミュニティ」

/ 多数のご応募ありがとうございました /

※ご記入の個人情報は適切に管理し、目的以外に使用しません。
※本誌に対するご意見、ご感想、ご要望の一部は、「読者のおたより」に掲載させていただく場合もございます。

2月号に寄せられた読者のおたよりから

毎回楽しく拝見しております。表紙にいつも癒されます。笑顔はパワーの源です。いろんなところで頑張っている方々の情報を見て、私も頑張らねば!! と思う次第です。

(57才 保育士)

これから10年後・20年後の福祉の現場は、今の若い世代が担っていくと思います。福祉の現場でもSNSを通じて発信することで、若者たちが施設の雰囲気や活動などが理解できるのはいいなと思いました。

(35才 事務員)

編集後記!

「コロナ禍」から社会が少しずつ以前のあり方に戻りつつあります。私たちの業務も回帰とともに柔軟にアップデートしていかなければと感じている新年度です。今年度も福祉に携わる方々の「はあとふる」な思いや表情をたくさんお届けしていきたいと思いますので、よろしくお祈りします!

ほろま ともえ
(総務企画課 本間 智絵)